

児童館等再編成方針骨子（案）

児童館等の課題

0～18歳まで全ての児童に限られたスペースと職員では、新たな課題等に対応することが難しい

課題1 安全・安心な居場所の確保

- ・一般来館者の利用が制限
- ・近年、子どもの安全を脅かす事件等の多発

課題2 世代ごとの多様化するニーズ・課題

乳幼児親子 1日使用できるスペースの確保、孤立した子育て
小学生 高学年児童の受入、時間延長等、自己肯定感の低下
中高生年代 気軽に利用できる安心な居場所の確保

課題3 委託児童館、学童クラブとの連携

委託化に伴い事業者へ統一的な指導・助言、対応職員の人材育成

課題4 新たな子どもたちの課題への対応

子どもの貧困、児童虐待、不登校やいじめなど子どもが抱える可能性のある問題の発生

児童館等の役割（あるべき姿）

全ての子どもの安全・安心な居場所づくりと支援の必要な児童及び家庭を支援する

役割1 遊びによる子どもの育成、居場所の提供

遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図る。

役割2 子どもの問題の発生を予防し、福祉的な課題に対応

子どもと子育て家庭が抱える可能性のある問題の発生を予防し、かつ、早期発見に努め、専門機関と連携して対応する。

役割3 子育て家庭への支援

子育て家庭に対する相談・援助を行い、子育ての交流の場を提供し、地域における子育て家庭を支援する。

役割4 地域組織活動の育成

地域組織活動の育成を支援し、子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの中心となる。

役割5 子どもの意見表明や参加の促進

子どもの考えや意見を尊重するとともに、子どもの主体的な活動を支援する。

機能別に編成し、新たな課題に対応する

■地域型児童館 公設民営（基幹・特化以外）

- 【役割】従来の児童館と同様
- 【取組】夜間・休日開館、児童館ランチタイムの実施
- 【将来】児童の推計を見ながら統廃合も検討

■特化型児童館 公設民営

- 【役割】中高生の居場所を付加した青少年センター的な役割
- 【取組】南部に統廃合により設置、仮称）中高生委員会で機能を検討

■基幹型児童館 公設公営

- 【役割】地域の子育て支援のコーディネイト
- 【取組】試行1箇所設置

委託児童館・学童クラブへの支援（助言・指導、巡回、モニタリング）

小学生と学童クラブの居場所づくり

■学童クラブの移設（教育委員会と協議）

- ・児童館併設を含め学童クラブは、段階的に小学校内に移設
- ・余裕教室や敷地内の活用のほか、大規模修繕、建替え時

■放課後子供教室との連携

連携拡充、放課後の居場所づくり（組織・日数・内容等）の検討

児童の問題の予防的な役割や福祉的役割の検討

コスト削減・人材活用

居場所の拡充

コスト削減

中高生の居場所づくり

組織強化

委託事業者支援及び育成支援の質の確保

遊びを通じて子どもを育成
（安全・安心な居場所確保）

支援の必要な児童と保護者への支援
専門家との連携

■基幹型のイメージ

